

新たな観光振興基本計画 答申(案)たたき台 概要

長野県観光振興審議会

- ◆長野県への観光地利用者の長期的な減少傾向は、これまでのような大規模なキャンペーンを主体とした対策を講じても劇的な好転が期待できない状況にあることから、施策の軸足を対症療法から観光地や観光産業の体質改善に転換し、本質的な観光の振興に取り組んでいくことが求められている。
- ◆このため、新しい計画においては、観光事業者だけでなく地域全体での観光地域づくりや信州ブランド戦略の展開をキーワードに、交流人口の拡大と滞在時間の増加をめざしていくことが重要である。

○ 計画策定の趣旨

- ・①長野県の観光施策を計画的かつ戦略的に推進するための方策を明らかにするとともに、②県、市町村、事業者、県民などが、適切な役割分担のもと、協働して取り組むための指針として策定

○ 計画の位置づけ

- ・「新たな総合5か年計画」における観光関連施策の個別計画としての位置づけ

○ 計画の期間

平成25～29年度
(5か年間)

第1編 現状と課題

第1章 観光を取り巻く環境

- 1 人口減少に伴う地域の衰退
- 2 旅行形態の多様化
- 3 外国人旅行者の増加
- 4 高速交通網整備による可能性の広がり
- 5 東日本大震災を契機とした価値観の変化

第2章 長野県観光の現状

- 1 近年の観光の動向
～観光地利用者はピーク時に比べ20%以上減少、特にスキー客は3分の1に～
- 2 長野県観光の魅力と評価
～長野県観光のポテンシャルは高いが、その魅力は十分に浸透していない～
- 3 観光産業の現状
～観光産業は主要な産業の一つだが、宿泊施設の稼働率は低迷～

第3章 長野県観光の課題

- 1 観光振興施策の点から面への転換
- 2 地域経済への貢献
- 3 顧客満足度と利便性・快適性の向上
- 4 新たな観光スタイルへの対応と高齢者、子ども、女性の視点の重視
- 5 海外からの誘客の促進
- 6 信州のブランド力の相対的低下
- 7 人材育成と仕組みの構築

第4章 長野県観光の強み

- 1 豊かな自然の恵みがもたらす観光資源
- 2 信州の暮らしが育んだ観光資源
- 3 大都市圏から近い地理的優位性
- 4 観光振興を進める上での高いポテンシャル

第2編 長野県観光がめざす姿

第1章 長野県観光がめざす姿

長野県観光がめざす姿を次のとおり掲げる。

○県民一人ひとりが「信州暮らし」を楽しみ、発信

- ・県民一人ひとりは、進歩の著しい情報通信技術、充実する高速交通網など現代の技術の利便性を活かしながらも、身近にある豊かな自然や美しい景観、伝統や文化などを大切に守り続けるライフスタイル「信州暮らし」を楽しみ、誇りと愛着を抱きながら、その魅力をおもてなしの心をもって来訪者に伝える。

○地域全体で魅力を高める「観光地域づくり」

- ・地域は、住民参加のもと、観光に直接携わる事業者と食品産業、小売業、農林水産業など幅広い関連事業者との連携、地域間の連携により、現在ある観光資源と地域に根差した農林業、健康長寿などのポテンシャル、各地域の魅力を結び付けながら、新たな価値を生み出し、体験や交流を求める新たな観光需要を開拓する。
- ・その中で、現在厳しい状況にある観光産業は、観光ニーズの変化に対応し競争力を高めることにより、地域と来訪者を結びつける役割を果たしながら、地域経済や雇用を支える産業として発展していく。

○信州のブランド力を高め、国内外から選ばれる長野県へ

- ・長野県全体としては、「信州」と聞けば誰もが想起する雄大な山岳やさわやかな高原のイメージを活かしながら、地域における新たな価値の発掘・磨き上げに取り組み、その魅力を一体感をもって発信することにより長野県観光のブランド力を高める。そして、来訪者の期待を裏切らない、さらには期待以上の価値を提供する世界に通用する魅力ある観光地域をめざす。

- ・長野県観光のめざす姿を実現するために、県、市町村、観光関連団体、事業者、県民等が一体となって中長期的な視点で継続的な観光振興に取り組む。
- ・また、長野県観光のめざす姿を実現することで、交流人口の拡大と来訪者の滞在時間の増加を図り、地域経済、地域の活性化に貢献する。

第2章 達成目標

参考資料1

- ・計画の進捗を点検するため、達成目標の設定が必要

第3編 施策の展開

- ・長野県観光のめざす姿を実現するため、効果的な施策展開が必要

第1章 重点的に取り組むプロジェクト

- ・観光を取り巻く環境が大きく変化する中であって、長野県観光のめざす姿の実現に向け、重点的に取り組むテーマを設定して、プロジェクトとして取り組むことが必要
- ・①国内でも長野県だけにしかない強みを活かした長期滞在にも対応できる地域づくり、②長野県観光の対外的訴求力の向上、③観光地域づくりの中核となる人材の育成と観光地域づくりを促進する仕組みづくり を重点的に取り組むテーマとして掲げて施策を展開することによって、長野県観光全体のレベルを引き上げていくことが適当
- ・プロジェクトの推進に当たっては、県、市町村、観光関連団体、事業者、地域住民など多様な主体が適切な役割分担のもと、互いに連携・協働し、一体となって効果的に施策を展開することが重要

〔プロジェクト〕

◎世界水準の山岳高原リゾートづくり

◎信州ブランドの磨き上げと発信による観光魅力の向上

◎連携と協働による観光地域づくり

第2章 施策体系

- ・長野県観光のめざす姿を実現するためには、重点的に取り組むプロジェクトに加えて、長野県観光の弱い部分を早急に補強するとともに、長野県ならではの強みを活かした観光魅力にさらなる磨きをかけていくことが重要
- ・5年間の計画期間に県が行う観光振興施策をわかりやすく体系化し、着実に取り組んでいくことが必要

〔施策の柱〕

1 観光地域づくりを担う
人材の育成

2 強みを活かした信州観光
の質の向上

3 来訪者にやさしいハー
ド・ソフト整備

4 マーケティングに基づく
誘客・交流の促進

5 ゴールデン・ルートに
負けない外国人誘致戦略

第4編 エリア別の観光地域ビジョン

参考資料2

- ・長野県観光のめざす姿の実現に向けて、それぞれの地域特性に応じた戦略的な観光振興を図ることが重要
- ・10圏域ごとに、地域特性を踏まえた将来像や施策を取りまとめることが必要
- ・10圏域を越えた広域連携についても、その現状と課題を踏まえ、今後の取組を明らかにすることが必要

第5編 計画の推進のために

参考資料3

参考資料4

- ・県と市町村、観光関連団体、事業者、地域住民などとの協働による施策の展開
- ・信州・長野県観光協会との役割分担を明確にした効率的で効果的な施策の展開
- ・景気対策としての短期的な施策、将来に向けた中長期的な施策のバランスよい展開
- ・計画をより実効性あるものとするための計画の検証・評価を行う仕組みの検討